

## 『九州・遼寧省(大連・瀋陽)環境ビジネスミッション』 を中国・遼寧省に派遣

九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ (K-RIP) では、2007 年度に JETRO RIT 事業の採択を受け、九州-中国遼寧省間の環境ビジネス成約に向けた一連の事業をスタートしました。

今年度は、2009 年 3 月 4 日（水）～7 日（土）、大連市及び瀋陽市に「九州・遼寧省(大連・瀋陽)環境ビジネスミッション」を派遣し、セミナー、商談会等を行いました。結果、商談が 55 件行われ、成約見込み 3 件、交渉継続 29 件等の成果がありました。今後、大連市とは覚書締結を活用して九州企業の個別支援等を行うこととしています。また、今回、初めて遼寧省環境保護局等との交流窓口ができたので、今年度実施した瀋陽企業の環境技術ニーズ調査結果を活用して、遼寧省(瀋陽市中心)との産業交流も行う予定です。

### 【ミッション概要】

1. 日 程：平成 21 年 3 月 4 日（水）～7 日（土）
2. 交流相手：  
《大連市》 大連市政府、大連市環境保護局  
《瀋陽市》 遼寧省環境保護局、遼寧省環境保護産業協会、  
瀋陽市環境保護局、瀋陽市環境保護産業協会

3. 参 加 者：民間企業及び団体からの参加者数 18 団体、総勢 27 名

4. 行程概要：

- 【4日】・『九州-大連環境ビジネスセミナー』  
・『九州-大連環境ビジネス商談会』  
・『K-RIP・大連市覚書締結記念式典及び交流会』

- 【5日】・瀋陽市静脈環境パーク視察  
・関係機関表敬（在瀋陽日本総領事館、遼寧省環境保護局・環境保護産業協会、  
(財) 日中経済協会瀋陽事務所）

- 【6日】・『九州-遼寧省環境ビジネスセミナー』  
・『九州-遼寧省環境ビジネス商談会』

### 5. ミッション個別内容

#### ①九州-大連環境ビジネスセミナー

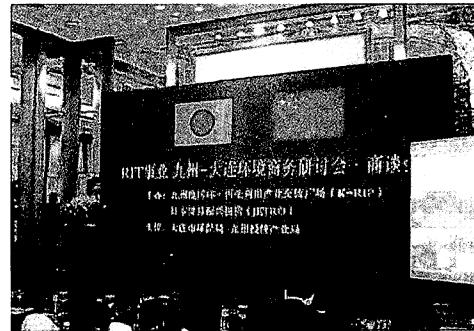
◆幅広く、中国企業及び行政等関係者に対して K-RIP 及びミッション参加企業の概要を PR するため、OPEN 形式の環境ビジネスセミナーを開催した。

◆セミナー参加者数は 80 名を超え、九州の環境技術に対する中国企業の関心の高さが伺われた。

#### ◆【セミナー概要】

- 日 時 : 3 月 4 日 15:30～17:00
- 場 所 : フラマホテル大連

1. 主催者挨拶 (K-RIP 坂田国際ビジネス部会長  
(ミッション副団長))
  2. 大連市環境保護局紹介 (国際合作処 黄副処長)
  3. 日本企業プレゼンテーション (ミッション参加企業5社)
  4. 閉会挨拶 (九州経済産業局 西環境対策課長)
- ◆環保局・黄副処長より最近の大連市の環境対応につき説明  
(国・省・市を挙げての環境対応が喫緊の課題)



## ②九州・大連環境ビジネス商談会

◆九州企業・中国企業間の具体的なビジネス商談の場として、個別商談会を開催した。

◆【商談会概要】

■日 時：3月4日 17:00～18:00

■場 所：フラマホテル大連

◆九州からのミッション参加企業13社と大連市内企業14社との間で商談を実施。商談件数はトータルで23件におよび会場は熱気に包まれた。



## ③K-RIP・大連市覚書締結記念式典及び交流会

◆2009年2月20日、K-RIPと大連市との間で「環境産業交流に関する覚書」(※下記参照)が締結されたことを受け、大連市政府及び同市内企業との間で記念式典及び交流会を開催した。記念式典では、戴大連市副市長による歓迎スピーチが行われた。

◆【概要】

■日 時：3月4日 18:30～20:00

■場 所：フラマホテル大連

◆今後、大連市とK-RIPは更なる両国間の環境産業交流の推進を実施。

### 【参考：覚書締結の概要】

日 時：平成21年2月20日（金）

場 所：九州経済産業局会議室

サイナー：大連市副市長 戴 玉林 氏

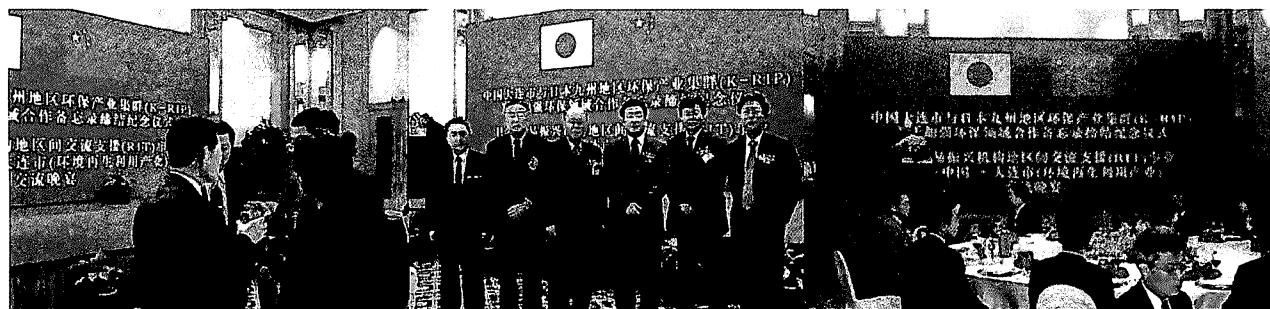
K-RIP 副会長 水永正憲氏（旭化成（株）延岡支社長）

立会者：中国共産党大連委員会書記 張 成寅 氏

九州経済産業局長 橋高公久 氏

覚書概要：

- ◆企業間交流が促進される協力体制の構築
- ◆商談会・技術交流会・セミナー等の共同事業を推進
- ◆環境分野に関する積極的な情報交換
- ◆K-RIPは環境技術分野専門家の派遣等に協力
- ◆大連市政府は、K-RIP会員企業が行う事業化調査、行政手続き及び知的財産保護等に関するサービスを提供



#### ④瀋陽企業訪問・視察

◆遼寧省における環境政策の実態を調査するため、瀋陽市における環境関連企業が集積している「瀋陽市環境パーク」を視察した。

■日 時：3月5日 14:00～16:00

#### ⑤在瀋陽関係機関表敬訪問

◆今後のK-RIPと遼寧省との交流促進に向けた人脈形成のため、K-RIP、JETRO及び九州経済産業局等の関係者により瀋陽市在住の関係機関の表敬訪問を行った。

■日 時：3月5日 13:00～17:00

■訪問先：1. 在瀋陽日本総領事館  
2. 遼寧省環境保護局、遼寧省環境保護産業協会  
3. (財)日中経済協会瀋陽事務所

#### ⑥九州-遼寧省環境ビジネスセミナー

◆今回初めて、遼寧省の省都である瀋陽にて、九州と遼寧省との環境関連機関・企業の交流を促進し、また両地域間の環境ビジネスを促進するためのOPEN形式の環境ビジネスセミナーを開催した。参加者は大連同様80名を超える盛況であった。

##### ◆【セミナー概要】

■日 時：3月6日 9:30～12:00

■場 所：商賈ホテル瀋陽

1. 主催者挨拶 (K-RIP 鶴田副会長 (ミッション団長))
2. 遼寧省環境保護局紹介 (環境保護局 王副局长)
3. 遼寧省環境保護産業協会紹介 (徐秘書長)
4. 九州経済産業局紹介 (西環境対策課長)
5. K-RIP 紹介 (飯塚クラスマネージャー)
6. 日本企業プレゼンテーション～ミッション参加企業6社～



#### ⑦九州-遼寧省環境ビジネス商談会

##### 【商談会概要】

■日 時：3月6日 13:00～16:00

■場 所：商賈ホテル瀋陽

◆九州からのミッション参加企業13社と瀋陽市内企業16社との間で商談を実施。商談件数はトータルで32件におよびました。同市は重化学工業の街であることから、「脱硫装置」や「水質浄化装置」など、環境汚染防止・浄化製品に対する関心が特に高く、同市内における環境規制の強化による環境機器へのニーズの高まりが感じられた。



# 九州環境クラスター大学若手人材育成コース 国際環境ビジネス人材交流会の開催

九州環境クラスター大学の一環として、留学生を対象として、「国際環境ビジネス人材交流会」が大分県別府市の立命館アジア太平洋大学で1月21日開催されました。

立命館アジア太平洋大学は世界各国からの留学生が殆んどで、講義も英語で行われるなど国際間で活躍できる人材を育成することで知られています。今回の国際環境ビジネス人材交流会では環境関連学部及び環境に興味を持っている学生が受講をされました。

また、講師陣として、海外に進出している企業や立命館アジア太平洋大学OBを招聘して、企業の海外進出の実情や苦労したことなどを経営者や担当者から直接「生の声」を聞くことができ、受講生は今後の進路の決め方や企業内での取組み方など大いに参考になりました。

立命館アジア太平洋大学学長から「大変有益な機会を設けて頂き、有難うございました。是非、継続していきたいのでご協力をお願いいたします。」との言葉をいただきました。

参加者：APU留学生58名、大学関係者10名、一般7名

## 【プログラム】

### 1. 主催者・来賓挨拶（14:00～14:15）

九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ クラスターマネージャー 飯塚 誠 氏  
経済産業省九州経済産業局 環境対策課長 西 孝之 氏

### 2. 基調講演（14:15～14:45）

立命館アジア太平洋大学学長 モンテ カセム 氏

テーマ：「環境危機に向けた人間社会の行動」～産業基盤形成におけるクリエイティブ・ソリューションズ～

### 3. 国際進出環境企業

#### プレゼンテーション（14:50～16:10）

コーディネーター

立命館アジア太平洋大学アジア太平洋学部教授  
国際協力・研究部長 サンガ・ンゴイ・ガザディ 氏  
(株)ワイビーエム

代表取締役会長 吉田 哲雄 氏

テーマ：「YBMの環境ビジネスへの取り組み」

空研冷機(株)

代表取締役社長 成清 重信 氏

テーマ：「空研冷機の海外展開と今後の取組みについて」

(株)三菱化学テクノリサーチ 調査コンサルティング部門1部

海外開発グループ 工学博士

主任研究員 孫 曜紅 氏

テーマ：「日本の環境ビジネスの海外展開と国際貢献」

(株)マステック 海外営業課

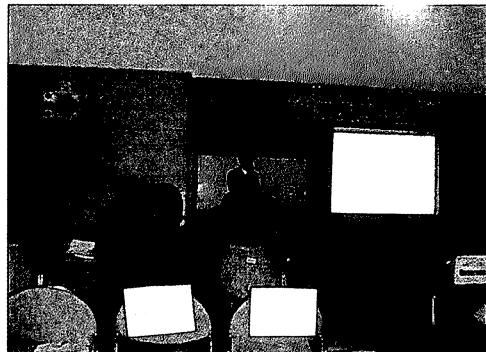
トリイ アシ マワルティ 氏

テーマ：「リサイクリング ビジネス」

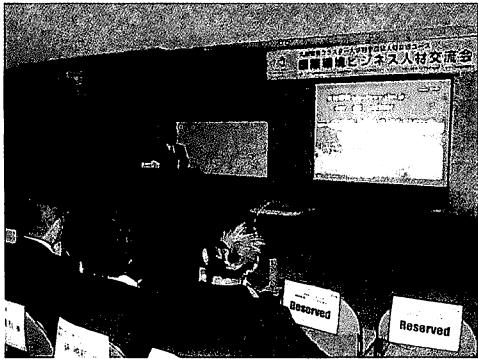
### 4. パネルディスカッション（16:10～17:50）

テーマ：「期待される日本の環境ビジネスの海外展開と国際貢献」

交流会 18時15分～19時30分



【立命館アジア太平洋大学学長の講演】



【(株) ワイビーエム、吉田会長の講演】



【(株) マステック、トライアシマワルティ氏の講演】

## バイオマスフォーラム in 大隅 開催される

バイオマスフォーラム in 大隅が 2 月 19 日鹿児島県鹿屋市鹿屋商工会議所で開催されました。今回は、K-RIP と九州バイオマス発見活用協議会の併催で、基調講演と 2 パートでのプレゼンテーションの 2 部構成で実施されました。

参加者は定員 150 名のところ 160 名集まり、バイオマスに対する関心の強さうかがわれ、大変盛況でした。

第 1 パートは、バイオマスに取り組んでいる、企業の事例発表（主催：K-RIP）、第 2 パートは、バイオマスタウン構想に取り組んでいる自治体（主催：九州バイオマス発見活用協議会）からの報告が行われました。

参加者：合計 160 名（第 1 パート：70 名程度、第 2 パート：70 名程度 ※自由に移動可）

### 【プログラム】

開会式：13:00～13:20

主催者挨拶（財）九州産業技術センター（K-RIP）

九州バイオマス発見活用協議会

来賓挨拶 九州経済産業局 資源エネルギー環境部

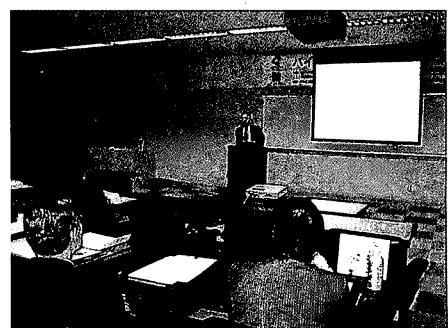
基調講演：13:20～14:10

（社）農林水産先端技術産業振興センター

理事長 岩元 瞳夫 氏

テーマ：「バイオマス・ニッポン」

～その基本的な戦略と今後の展望～



【（社）農林水産先端技術産業振興センター岩元理事長の基調講演】

第 1 パート（会議室 A）14:20～17:00

テーマ：バイオマスビジネス～可能性への挑戦

コーディネーター：鹿児島大学農学部教授 岩崎 浩一 氏

### 【プレゼンテーション】

① 食品残渣の地域内循環を実現するメリーズシステム

楽しい（株） 代表取締役社長 松尾 康志 氏

② 鶏ふん発電事業について

西日本環境エネルギー（株）新規事業推進部 新規事業推進課 梅津太一郎 氏

③ バイオマスエネルギーの複合利用事業

（有）鳥栖環境開発総合センター 総務部環境計量課 技術主任 伊地知武郎 氏

④ 市民主導による生ゴミ堆肥化

NPO 法人 伊万里はちがめプラン 理事長 福田 俊明 氏

⑤ 資源循環型施設を目指して～南の島からの挑戦～

与論町役場 産業振興課 与論町堆肥センター所長 山下 秀光 氏

第2パート (会議室B) 14:20~17:00

テーマ：バイオマстаунサミット～バイオマス利活用の推進

コーディネーター：鹿児島大学 農学部准教授 寺岡 行雄 氏

【プレゼンテーション】

① バイオマстаунについて

九州農政局企画調整室（九州地域バイオマス関係機関連絡会議）室長補佐 山本美智也 氏

② ものを大切に人を大切に

志布志市 市民環境課環境政策室 室長 西川 順一 氏

③ 鹿屋市のバイオマстаун構想策定作業報告

鹿屋市産業政策課 係長 櫛下 俊朗 氏

④ 錦江町のバイオマстаун構想策定作業報告

錦江町産業振興課 係長 荒木 義文 氏

⑤ 大隅半島におけるバイオガス供給事業の立ち上げ

(株)日本総合研究所創発戦略センター 副主任研究員 赤石 和幸 氏

⑥ 廃熱を利用した乾燥チップ生産と地域でのエネルギー利用

共同組合きもつき木材高次加工センター 山佐木材(株) 製造部長 村田 忠 氏



【楽しい㈱ 松尾社長の講演】



【NPO 法人伊万里はちがめプラン福田理事長の講演】

## 『環境ビジネス推進フォーラム』

～環境配慮型製品・サービスの購入促進に向けて～

最近、地球温暖化などの環境問題や世界的な経済情勢の変化に伴う資源価格の急激な変動などの問題が、ますます深刻なものとなっています。

このような中、環境問題と資源問題を同時に克服し、持続可能な経済発展を続けていくためには、資源循環型社会を構築していくことが重要と考えています。

今回、資源循環型社会の形成に向けた取組及び環境・リサイクル産業の推進による地域活性化の一助となる様、環境配慮型製品・サービスについて広く利用事業者等にPRし、より環境に優しい製品・サービスの積極的な購入を促進することを目的として、フォーラムが開催されました。

日時：平成21年2月24日（火） 13:30~17:30

会場：博多都ホテル3階「孔雀の間」（福岡市博多区博多駅東2丁目1番1号）

主催：財団法人九州産業技術センター、九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ(K-RIP)  
九州グリーン購入ネットワーク（九州GPN）、(社)全国産業廃棄物連合会九州地域協議会  
後援：経済産業省九州経済産業局、環境省九州地方環境事務所、(社)九州経済連合会  
参加人員：120名

13:30-13:40 開会

主催者挨拶 九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ

情報・交流部会長 西村 正幸 九州電力(株)施行役員環境部長

来賓挨拶 九州経済産業局 資源エネルギー環境部部長 廣田 正典 氏

13:40-14:30 基調講演

『TOTO グループの環境への取り組み』

TOTO(株) 環境推進室 室長

牛嶋 隆 氏

14:40-17:00 プレゼンテーション

■「環境産業の新しい風を九州から」

～K-RIP の九州地域での取組み紹介～

九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ (K-RIP)

クラスターマネージャー 飯塚 誠 氏

■「焼酎かすは宝の原料」

大山食品(株) 代表取締役

大山憲一郎 氏

■「地球温暖化時代に伸びる、差別化商品『ソーラー付 LED スファイア街路灯』」

(株)藤島 代表取締役

藤島 康司 氏

■「自然から安心へ」

～赤ちゃんにも安心な七色無添加せっけん&安心な石鹼塗料～

まるは油脂化学(株) 代表取締役

林 真一 氏

■「卵の殻を有効活用したリサイクル製品の製造・販売」

～地球にあるもの、すべては資源、それは eco～

(株)グリーンテクノ21 代表取締役

下 浩史 氏

■「蛍光管リサイクル事業」

(株)ジェイ・リライツ 代表取締役社長

櫻井 文夫 氏

13:30~17:30 「環境配慮型製品・サービス等の展示・相談会」



[TOTO(株) 室長 牛嶋隆氏]



[株)藤島 代表取締役 藤島康司氏]



[株)ジェイ・リライツ 代表取締役社長 櫻井文夫氏]



[相談会風景]

# 『環境ビジネス交流会』

昨今の環境問題においては、これまでの公害対策や国内資源循環対策に加え、地球温暖化対策の重要性が高まっており、九州においても、大企業と中小企業が一体となり、これら問題に取り組んでいく必要があります。

そこで、様々な環境サービスの提供者としての中小企業者の多いK-RIPと、環境サービス利用者の多い九経連会員企業が一堂に会し、更に九州各県との連携によるオール九州での新しい環境ビジネス創出へ向けた交流会が開催されました。

日時：平成21年3月10日（火） 14:00～19:00（意見交換会 17:30～19:00）

会場：博多都ホテル3階「孔雀の間」（福岡市博多区博多駅東2丁目1番1号）

主催：財団法人九州産業技術センター、九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ（K-RIP）

（社）九州経済連合会資源・環境委員会

後援：九州経済産業局

参加人員：110名

○14:00 開会

- (1) 開会
- (2) (社)九州経済連合会資源・環境委員会委員長挨拶
- (3) 資源・環境委員会の活動報告
- (4) 環境ビジネス交流会

○14:20～15:05

①基調講演

演題 【環境ビジネスの最新動向について】

講師 エコビジネスネットワーク 代表

安藤 真 氏

○15:20～17:20

②K-RIP会員企業の環境配慮製品紹介

・【安川電機の環境ビジネス戦略および環境配慮製品紹介（インバータV1000シリーズ）】

（株）安川電機 （福岡県） インバータ事業部事業推進部長 川野 清 氏

・【全開口（共鳴吸収）消音器型】

（株）ダイヤ空調 （佐賀県） 代表取締役 田島丈太郎 氏

・【輻射式冷暖房装置ハイブリッドサーモシステム「エコワイン」】

（株）エコファクトリー （熊本県） 代表取締役社長 村上 尊宜 氏

・【阿蘇黄土と脱硫化水素剤のグリーン・サイビサイジング事業】

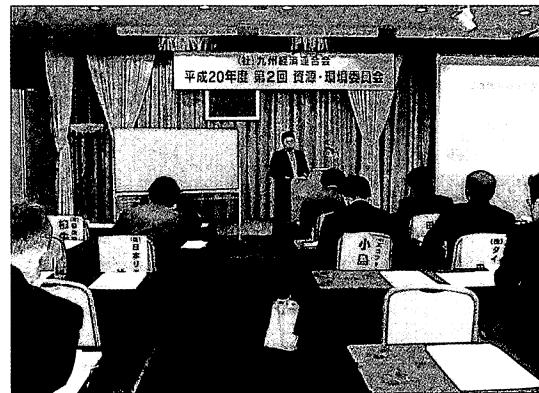
（株）日本リモナイト （熊本県） 専務取締役 蔵本 厚一 氏

・【水質浄化・凝集剤「きよまる君」】

（株）柳生防水技研 （鹿児島） 代表取締役 柳生 良治 氏



[エコビジネスネットワーク代表 安藤氏]



[（株）安川電機 室長 川野氏]

## エコ塾の開催

九州経済産業局及び九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ（K-RIP）では環境分野の人的交流、産学官交流、企業間交流の活性化を目的とした「エコ塾」を毎月第1水曜日を原則として開催しています。

「エコ塾」は誰でも自由に参加でき、毎回2社の環境関連に取り組む企業のプレゼンテーションと、立食形式での交流会の2部形式で行っています。

今回は第20回及び第21回のエコ塾の報告を致します。

### 【第20回エコ塾】

【開催日時】平成21年1月14日（水）

講演会 17：00～18：00 交流会 18：00～19：30

### 【開催場所】

講演会 九州経済産業局 第二・三会議室（福岡合同庁舎6階）

交流会 福岡合同庁舎 新館 喫茶店ポンティエーチ

参加者：46名

### 【第一プレゼンテーション】

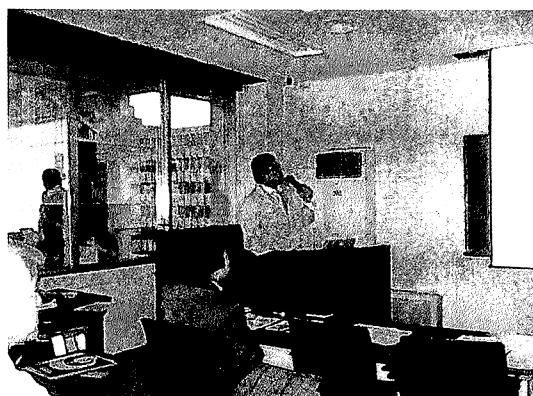
プレゼン者：TOKIエンジニアリング株式会社

営業部長 大和 浩 氏

プレゼンテーマ：「パッキンが環境に与える影響について」

プレゼン概要：食品製造工場等の配館には、従来から主にゴムパッキンが使用されてきました。しかし、ゴムパッキンは破損しやすく商品への異物混入を招く恐れが高いことや、リサイクルができない素材でできているため循環型社会には適合しないなど様々な問題を抱えております。

そこで、弊社では耐久性に優れ、リサイクル可能なステンレス性パッキンを開発致しました。ゴムパッキンの際に発生していた移香問題や、雑菌の繁殖も防止できるため、衛生面に細心の注意を払う必要がある食品業界を中心に、高い評価を得ております。



【大和氏のプレゼン】

### 【第二プレゼンテーション】

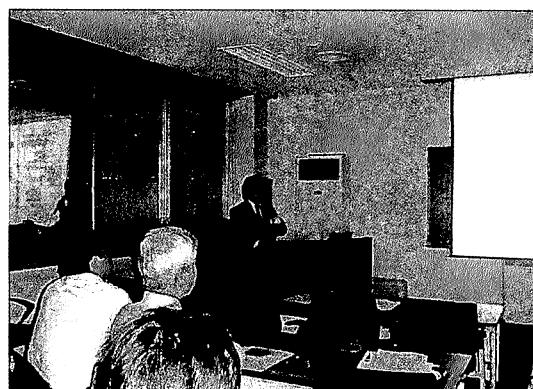
プレゼン者：兼定興産株式会社

代表取締役 野下兼司郎氏

プレゼンテーマ：廃消火剤買い受けます。

（廃消火剤から肥料を作ります）。

プレゼン概要：各国の食料戦略により、ここ数年肥料原料が高騰しています。例えばリン酸は、約2.5倍の価格になりました。農業分野では、安価で安全な肥



【野下氏のプレゼン】

料の確保が急務になりました。廃粉末消火剤は、成分的にはリン酸肥料として申し分ないのですが、浮遊性を付加してあるので肥料登録は出来ませんでした。今回この浮遊性を打破することに成功し肥料登録が可能になりました。今後廃消火剤を有価で購入し安価な肥料を提供することにしています。

## 【第21回エコ塾】

【開催日時】平成21年2月4日（水）

講演会 17：00～18：00 交流会 18：00～19：30

### 【開催場所】

講演会 九州経済産業局 第二・三会議室（福岡合同庁舎6階）

交流会 福岡合同庁舎 新館 喫茶店ポンティエーチ

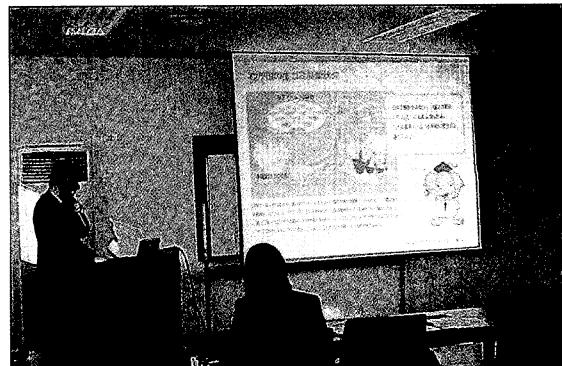
参加者：36名

## 【第一プレゼンテーション】

プレゼン者：エコシテージエンジニアリング株式会社 代表取締役 中園 英司 氏

プレゼンテーマ：「油温減圧乾燥技術」を用いたバイオマス利活用の事例と今後の動向

プレゼン概要：「油温減圧乾燥技術」により食品廃棄物を有価物（飼料原料）として商品を製造している全国の実稼働事例ならびに下水汚泥等よりエネルギー転換されている事例をもとに本技術の特徴、安全性をご説明するとともに今後のバイオマス利活用の方向性と課題を取り上げます。



[中園氏のプレゼン]

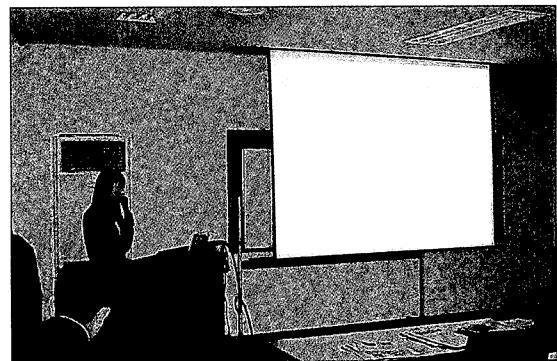
## 【第二プレゼンテーション】

プレゼン者：九州バイオマス発見活用協議会 事務局 TRES 取締役 福田 史恵 氏

（農学博士 バイオマстаун・アドバイザー）

プレゼンテーマ：バイオマстаун構想策定

プレゼン概要：平成14年「バイオマス・ニッポン総合戦略」の閣議決定を受け、農林水産省は、平成16年度より自治体単位で廃棄物系バイオマス90%以上、未利用系バイオマス40%以上の総合的な利活用に取り組む「バイオマстаун構想」の公表・支援制度を開始しています。今年度、同省「地域に根差した環境バイオマスに関する意識改革 九州地域事業」を弊社が委託実施しており、タウン構想の目的と意義、また35市町村の実地調査の中から実情を紹介します。



[福田氏のプレゼン]

## 20年度 K-RIP プロジェクト成果報告会

昨年6月にK-RIPプロジェクトに採択された企業の成果報告会を行いました。1年にわたり検討した結果が報告され、成果として事業化調査の目的を達成し、更に現地法人、代理店、販売店の設置が進んでいること、また中国の大学と共同研究を行うべくジェトロ「ジェイフロント」への申請に向けて活動を起こしている等具体的な成果が上がっていることが報告されました。今後の事業展開が大いに期待されます。

1. 開催日：平成21年2月27日（金） 13:00～15:10
2. 場 所：（財）九州産業技術センター 3F会議室

### 発表スケジュール

時 間	テーマ・発表者
13:00～13:10	議事次第説明・開会挨拶
13:10～13:25	「中国における都市緑化資材製造技術&水質浄化技術の事業化調査」 株式会社マサキ・ヴェック 上村 浩之
13:25～13:35	質疑応答・発表者交代
13:35～13:50	「脱硫化水素剤のグリーン・サービスサイジングモデル普及のための調査研究」 株式会社日本リモナイト 辻 誠
13:50～14:00	質疑応答・発表者交代
14:00～14:15	「広範囲な燃料に対応できる汎用性の高い省エネバーナーの開発」 竹田合同タクシー株式会社 高野 將
14:15～14:25	質疑応答
14:25～14:35	休憩
14:35～14:50	「中国（大連市）簡易脱硫装置事業化調査」 環境テクノス株式会社 鶴田 直
14:50～15:00	質疑応答・発表者交代
15:00～15:15	「クールアイランド舗装プロジェクト」 木下緑化建設株式会社 木下 浩市
15:15～15:25	質疑応答

# K-RIP 事業の紹介

## 平成21年度K-RIPプロジェクトを募集

K-RIPプロジェクトは、K-RIP会員が実施する環境・リサイクル産業の育成・振興に係る事業への支援を行うものです。会員の皆様奮ってご応募ください。

1. 応募期間 平成21年3月9日(月)～4月6日(月)
2. 助成金の範囲 一定の活動経費として総額350万円、採択数は3～4件程度  
(但し1件当たり上限100万円)
3. スケジュール 応募プロジェクトが多数の場合は、書類選考を行い、書類選考を通過したプロジェクト応募者は、4月23日(木)に開催予定の応募者プレゼンテーションを行っていただきます。プレゼンテーション内容等を参考に、採択者を決定します。

\*応募方法等詳細は、「平成21年度K-RIPプロジェクト募集要項」若しくは、K-RIPホームページの「K-RIPプロジェクト」をご参照ください。不明な点はK-RIP事務局までお問い合わせください。

## 平成21年度K-RIP総会 開催のご案内

1. 日時 平成21年6月18日(木) 14:00～19:00
2. 場所 博多都ホテル  
福岡市博多区博多駅東2-1-1 TEL: 092-441-3111
3. スケジュール
  - 14:00～15:00 K-RIP役員会
  - 15:10～16:10 K-RIP総会
  - 16:20～17:20 記念講演
  - 17:40～19:00 親睦交流会

[Kyushu Recycle and Environmental Industry Plaza] (K-RIP)

九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ (K-RIP) 事務局

〒812-0013

福岡市博多区博多駅東2丁目13-24

財九州産業技術センター内

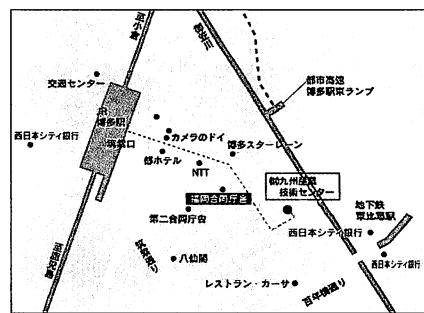
TEL 092-474-0042

FAX 092-472-6609

URL <http://www.k-rip.gr.jp/>

e-mail [info@k-rip.gr.jp](mailto:info@k-rip.gr.jp)

 Industrial Cluster Project  
産業クラスター計画



平成21年3月発行